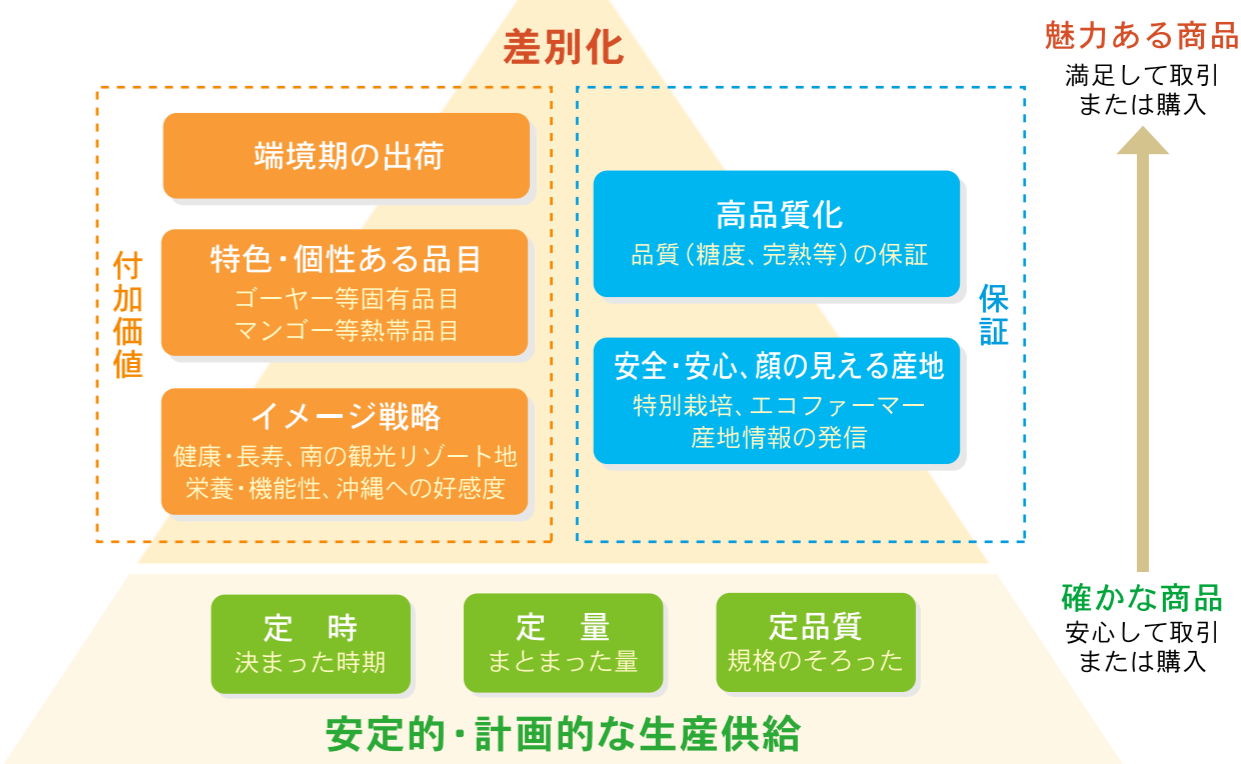


野菜・花き・果樹の「おきなわブランド」確立を目指して

最近の沖縄ブームにより、「ゴーヤー」などの野菜が全国的に注目されています。県では、新鮮で高品質な県産園芸作物を県内・県外に届けるため、「拠点産地」を形成するなどして、関係者とともに生産体制の強化に取り組んでいます。

本県は、平均気温二十三日という亜熱帯の温暖な気候を生かし、①きく、さやいんげん等をはじめとする園芸作物の冬春期の供給産地、②ゴーヤー、とうがん等の野菜、マンゴー等の熱帯果樹及び熱帯花きなどの供給産地としての役割を果たしています。県産園芸作物は、近年の消費者の健康志向の高まりから、健康長寿県の食材として全国的に注目を集めており、消費者及び市場から生産拡大が期待されています。また、量販店等を中心として農産物の流通が進んでいることから、決まった時期にまとまった量の規格のそろった、いわゆる「定時・定量・定品質」を基本とする農産物の安定供給が求められています。このため、県では、消費者・市場ニーズに対応した「新鮮・良質・安全な園芸作物の安定供給のため、「拠点産地」の形成を進めるとともに、さやいんげん、きく、マンゴーなどを「戦略品目」と位置づけ、市場競争力の強化を図っています。

「沖縄ブランド」のイメージ



消費者・市場等の評価により「沖縄ブランド」を構築!!

県内各地区の主な拠点産地

〔北部地区〕 タンカン(国頭村・名護市)

糖度・果色判定センサーを導入して、本県を代表するかんきつ類「タンカン」の品質統一を図り、贈答用品等としての利用拡充によるブランド化に取り組んでいます。



果実の選別状況

〔中部〕津堅島にんじん(うるま市)
島内世帯の約二割がにんじんを生産するキャロットアイランドで甘味に優れたこだわりの品種を生産しています。中部唯一の離島の豊かな環境のもと、エコ農業の実践によるブランド化を目指しています。



津堅島の大地が育んだ自慢のにんじん

〔南部〕豊見城マンゴー(豊見城市)

饒波地区を中心に整備されたハウスで丹念に生産されるマンゴーで、七月十五日の「マンゴーの日」に用意される桐箱入りの特選品(一箱二万円)は即完売されます。国内の栽培最適地であり、質の高いマンゴーの生産に励んでいます。



特選品の販売状況

〔南部〕糸満小ぎく(糸満市)

全国一の生産量を誇る本県最大の産地です。電照技術に加え、全面にネットをかぶせた施設で台風の被害を防ぎ、年末と春の彼岸を中心に全国に向け安定供給しています。



ネット施設内の小ぎく

〔宮古〕宮古島とうがん(宮古島市)

アーチ型のネット施設等の導入により飛躍的に収穫量が増加し、品質も向上しています。沖縄の食文化を代表するヘルシー食材として一層の需要拡大を図っています。



愛情たっぷりのとうがんを抱えて

〔八重山〕石垣島オクラ(石垣市)

温暖な気候を生かした日本一収穫の早いオクラの産地で、東京市場等で高値で取引されています。低コストな台風対策資材の活用や農家リーダーによる品質検査の徹底により高品質を追求しています。



台風対策資材(右奥)を活用

現在、四十六の拠点産地が形成されており、生産者、出荷団体、市町村、県が一体となり、台風・害虫等の被害を軽減する防風・防虫ネットなど栽培施設の整備、栽培技術の高度化、生産・出荷組織の人材育成などに取り組んでいます。県民の皆さまの健康で豊かな生活を支え、健康長寿や観光リゾート地にふさわしい沖縄ブランドの確立をめざした産地づくりに努めています。

